



TCUボランティアセンターでは、この夏に3つのボランティアキャンプに学生を派遣しました。学生の皆様には、祈りと献金のサポートを頂き感謝しております。参加した学生による感想を読んで、少しでも関心をもっていただけたら幸いです。

## 1 ボランティアキャンプ報告

### \* ふくしまHOPEキャンプ

①7/20～7/22に、吉橋雄介、川上栄輝、泉ユリエ、遠田ゆりな、吉澤愛祈の5名、②8/15～8/18に、佐藤宣愛、マクドエル・デービッド、加藤恵子の3名が参加しました。川遊びやぶどう狩り、カヌー体験などなど、様々なプログラムを通して、被災地の子どもたちと交わりました。

#### ◆感想:神学科1年 吉澤愛祈さん

わたしが、このキャンプで一番驚いたことは参加した子どもたちの聖書への興味です。ふくしまHOPEキャンプには、15分程度のわずかなバイブルタイム(聖書の話をする時間)があります。いつも騒がしい子どもたちも、バイブルタイムになると静まって真剣にお話を聞きます。また、私のカバンに入れっぱなしだった聖書を見つけると、一斉に「読んでいい?」「読んでいい?」と聞かれ、「いいよ」と言うと、「わたしが先!」「違う、わたし!」と1冊の聖書を取り合っていました。キャンプに参加している子どもたちは、教会に通っていません。親もクリスチャンではありません。そんな彼らにとって、聖書や神様のお話は新鮮だったのかもしれませんが、こんなに聖書を求めている子どもがいることが嬉しかったです。ふくしまHOPEキャンプの方針のため、子どもたちを教会へ誘ったりはしませんでした。たくさん聖書や神様のことを伝えたかったのに、上手に話せなかった自分がもどかしいです。キャンプから帰ってきた後は、もっと聖書について教えることができたらと、少し反省もしています。今は、ただ彼らのために祈りたいです。

#### ◆感想:神学科2年 佐藤宣愛君

「30分前には集合をお願いします。」スタッフの方からそう伝えられていた私たちは、9時にはスーパー(ヨークベニマル)に到着し、朝ごはんを食べながらバスを待っていました。ところが、予定の時間が近づいてもバスが来ません。バスどころか、子どもたちもスタッフも来ません。「おかしいなあ」と思いながら、予定の時刻も過ぎてしまった9時32分、スタッフからの着信。「もしもし、宣愛さん! ? 今どこですか! ?」「えっと、駐車場で朝ごはんを食べていたんですが、ヨークベニマルに集合ですよ?」「はい、ヨークベニマルの〇〇店です...!」「えっ! ヨークベニマルって、そんなにいくつもあるんですか...! ?」

その後の細かい経緯は省略しますが、なんとかバスと合流することができ、楽しい3日間を過ごすことができました。キャンプが始まる前の私は、「子どもたちを楽しませるついでに、

自分も楽しめたらいいな」という風に考えていたのですが、今では「自分が本気で楽しめば、子どもたちも楽しんでくれる」と考えるようになりました。ぶどう狩りやボート体験などの楽しいプログラムはもちろんですが、子どもたちが何よりも求めているのは「一緒に本気で楽しんでくれる人」なのではないかと感じたのです。ふくしまHOPEキャンプ、「子どもたちと一緒に楽しみたい!」という方にオススメいたします。



### \* 東仙台子どもキャンプ

8/16～8/19に、日本キリスト改革派 東仙台教会の主催するキャンプに、吉橋雄介、長谷部将希、林茉莉の3名が参加しました。スタッフが少なく、約70名の子どもたちと共に山登りやプールで遊び良い時を過ごすことができました。

#### ◆感想:神学科1年 林茉莉さん

8月に東仙台子どもキャンプに参加しました。キャンプを終えて一番思ったことは、仕える姿勢の足りなさです。今回、子どもの人数に対してスタッフの数が少なく、元気いっぱいな子どもたちと3日間過ごすのは大変でした。私は今までほぼ全員クリスチャンのキャンプに参加してきたので、参加者のほとんどが教会に行ったことのない子どもたちであるキャンプにギャップを感じたり、部屋の担当をすることになったり、初めて経験することが多くありました。さらに私は子どもと遊んだりするのは上手くないので、この3日間疲れるなどと思ってしまいうこともありました。そんな中スタッフの方々や先輩たちを見て、本当に自分の足りなさを感じました。キャンプ中にたくさん働き、疲れもある中で、子どもたちに優しく話しかけていたり助けていたり、まさに仕える姿勢に尊敬をしました。自分の仕える者としての足りなさを自覚することができ、簡単には低い姿勢になれないことがわかりました。これから、子どもたちだけではなく、周りの人、そして神様に仕えていくことをもっと学んでいきたいです。

キャンプに来ていた子どもたちの話の中で、被災地に新しい学校と駅ができることを聞きました。今でも復興は続いています。ぜひ被災地のことやそこにいた子どもたちのことを覚えて、また神様を知る人が増えるようにお祈りください。今回のキャンプが用いられ、多くの子どもが参加していたことは感謝です。熊本や、海外でも地震の被害にあったところのために祈りましょう!

※ボランティアセンター新しいスタッフ募集。関心のある方はリーダーズ(吉橋、鈴木み、嶋田、赤羽根)までご連絡ください。